

第612回沖縄大学土曜教養講座

共催：特定非営利活動法人 日本スリランカ次世代育成サポート

こどもの学びを育む「きぼう」の教育

ースリランカ、沖縄から見える未来の教育デザイナーー

11月8日(土) 会場：沖縄大学アネックス共創館
14:00～17:00 (那覇市字国場405番地)

2025年3月、国際協力機構JICA草の根支援を受け、『スリランカきぼう国際学校』において『特別活動』いわゆる『特活』を導入することとなりました。クラブ活動、朝礼・文化祭などはスリランカの学校にはありません。日本では当たり前に思っているこうした知識教育以外の活動（＝特活）は体験学習と学生参加型授業を通して、子どもたちの自治能力、社会性や協調性を伸ばすことを目的にしています。自国と他国の比較をしながら、より良いものを追求してみる。今回の沖縄大学土曜講座はそこにスポットを当ててみました。

沖縄大学では様々な国や地域と国際交流を行なっていますが、その中で20年にわたって沖縄とスリランカを結ぶ草の根の国際理解教育を進めてきました。その活動の成果を土台にした講座といえるでしょう。現地を訪れたプロジェクトメンバーによる報告、交流体験、課題や利点を明らかにし、専門家の意見を伺い、未来につなぐ教育の展望を描いてゆきたいと思います。

多くの皆様方のご参加をお待ちいたしております。



プログラム

- 14:00 開会挨拶 須藤義人氏（地域研究所所長／沖縄大学人文学部教授）
14:05 趣旨説明 鳥光宏氏（講師・作家）
14:10 基調講演 「自己体験から見てきた「きぼうの学校」への光」
ディリープ チャンドララル氏（沖縄大学名誉教授）
報告1 「スリランカでの特活導入に参加して」北岡哲治氏（糸満青少年の家）
報告2 「わたしとあなたの学校」大城美智子氏（元教諭）
15:40 休憩
15:50 パネルディスカッション「こどもたちが希望を持てる学びの場を作るには」
（ディリープ チャンドララル氏、北岡哲治氏、大城美智子氏、黒木義成氏、上原周子氏）
①JICAで始まる特別活動 エジプトその事例 黒木義成氏（沖縄大学人文学部教授）
②沖縄の特別活動から見えるきぼう学校での特別活動の可能性
上原周子氏（沖縄大学人文学部教授）
16:30 質疑応答
17:00 終了

問い合わせ先：沖縄大学地域研究所
住所：那覇市字国場405番地
TEL：098-832-5599
Email：chiken-staff@okinawa-u.ac.jp
窓口：平日8:30～17:15

参加費
無料

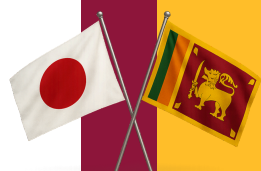
右のQRコード
もしくは沖縄大学
ホームページから
お申込みください。



大学コンソーシアム連携 県民向け公開講座

県民カレッジ 連携講座

地域共創・未来共創の大学へ



スリランカきぼう国際学校とは



スリランカの北西部州のデナガムワ村に2021年1月にきぼう国際学校という新たな学校が開校された。スリランカで一般的に行なわれている詰め込み型教育の代わりに、この学校のカリキュラムには体験学習、感動体験、地元志向やキャリア形成などの実践的教育プログラムが組み込まれている。スリランカで活動するNGOブライトムーン・ファンデーションが学園の管理運営を行っている。開校時に入学した児童たちは今5年生になっている。生徒の数は156名で、教員数は18名である。今のところ小学校だけであるが、将来中・高校まで開校する予定である。スリランカの公立学校は民族、言語、宗教によって分かれており、異なった民族や宗教の子ども同士の交流はあまりない。この学校では、どの民族、宗教の児童も受け入れ、多民族・多宗教の交流が盛んに行なわれている。

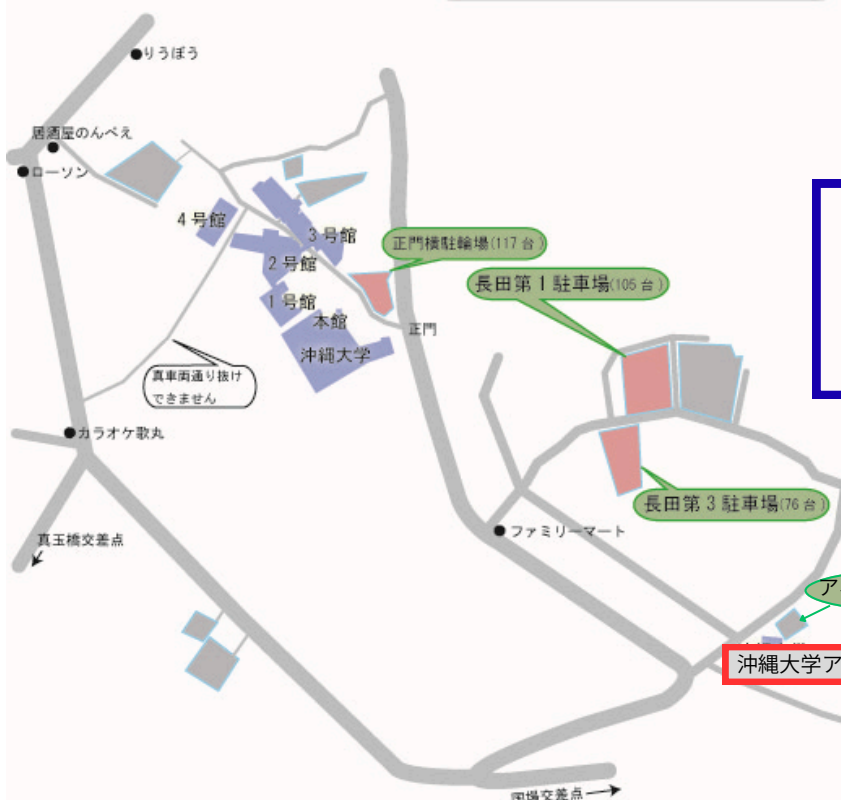


特定非営利活動法人

日本スリランカ次世代育成サポート

Japan & Sri Lanka Next-generation Edu Support

大学駐車場・駐輪場 案内図



お車でお越しの方は

アネックス駐車場、
長田第1駐車場、長田第3駐車場
をご利用ください。